

## 研究実施のお知らせ

研究課題名: 栄養スクリーニングツール MUST と DSS の関連

研究期間: 2024年10月～2025年2月 24 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月 30 日施行)に基づき、匿名化された既存試料の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

令和 6 年 6 月から10月に嚥下機能評価(嚥下内視鏡)を行った 60 例の患者さん。

### 【研究の目的と意義】

入院患者の摂食嚥下機能を維持・向上させるためには、適切な栄養管理が不可欠です。当院では、令和 6 年 6 月より、診療報酬改定に伴い、新しい栄養スクリーニング法として Malnutrition Universal Screening Tool(MUST)を導入しました。MUST は Body Mass Index(BMI)、体重減少率、急性疾患の有無から評価し、MUST スコア 2 点以上が栄養障害高リスクとされています。低栄養は骨格筋量の減少などに繋がり、嚥下機能への影響が明らかとされていますが、MUST と誤嚥リスクを調査した国内での先行研究は少ないため、今回、当院で嚥下機能評価を実施した患者の MUST スコアと接触嚥下障害臨床的重症度分類(DSS)との関連を調査しました。

### 【研究の方法】

量的研究を実施しました。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

入院記録より、MUST スコアを調査し、更に DSS スコアを、嚥下機能評価記録を基に点数化します。患者背景として、性別・年齢をデータとしてカルテより収集し、使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

### 【利益相反の状況】

この研究は、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

**【研究の実施体制】**

この研究は、以下の体制で実施されます。

研究代表者：

仙台市立病院 看護部 菅井瑠美

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

**【問合せ先】**

仙台市立病院 看護部

外来 C ブロック 菅井瑠美 (当院の研究責任者)

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話:022-308-7111(代表)